



TITLE:

# 京都大学リサーチ・ディベロップメントプログラム, いしずえ

AUTHOR(S):

鮎川, 慧; 園部, 太郎; 橋爪, 寛; 田上, 款

---

CITATION:

鮎川, 慧 ...[et al]. 京都大学リサーチ・ディベロップメントプログラム, いしずえ. 2016: P\_18.

ISSUE DATE:

2016-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/234537>

RIGHT:

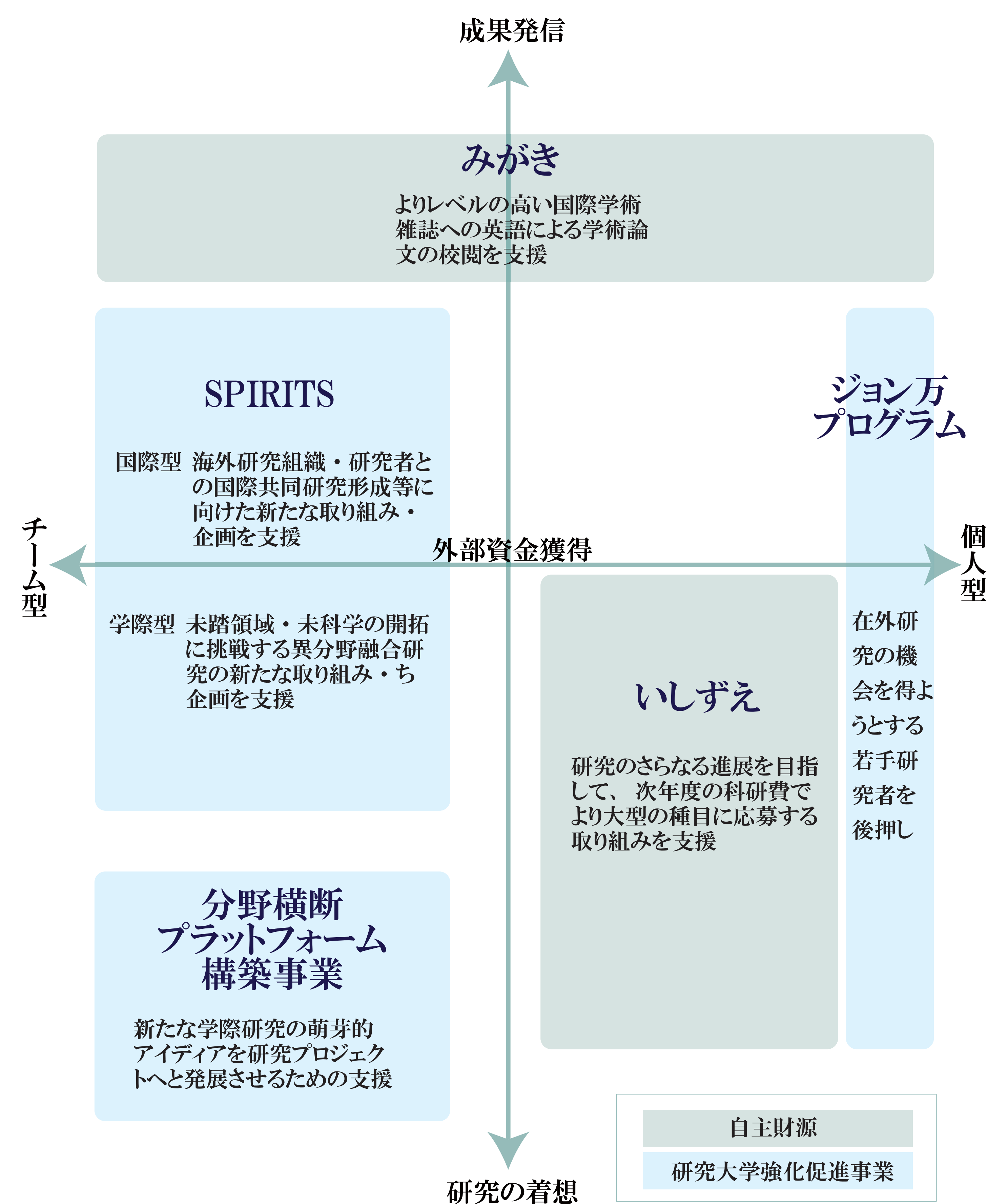


# 京都大学リサーチ・ディベロップメントプログラム いしずえ

鮎川 慧・園部 太郎・橋爪 寛・田上 款（京都大学 学術研究支援室）

## 京都大学リサーチ・ディベロップメント・プログラム

京都大学では、「越境する知の拠点」を牽引する能力を有する URA を育成し、卓越した知を創出するため、学内の研究戦略の下 URA が学内ファンド（京都大学リサーチ・ディベロップメント・プログラム）の企画・設計・運営に携わっています。これらのプログラムは、研究のフェーズや年齢層に応じた効果的なファンドであり続けるために、毎年事前調査を行い、自主財源メニューで実施する事業を増やしながら、規模、内容ともに進化を続けています。また資金面だけではなく、KURA の他の事業とも連携することで、研究の内容にまで踏み込んだきめ細やかな支援を心がけています。



### 目標

- 研究のフェーズや研究者の年齢層に応じた、効果的なファンドの構築による研究力向上
- 学内ファンドの企画、設計、運営、評価、改善を通じた URA の PM 能力の向上

### 実績

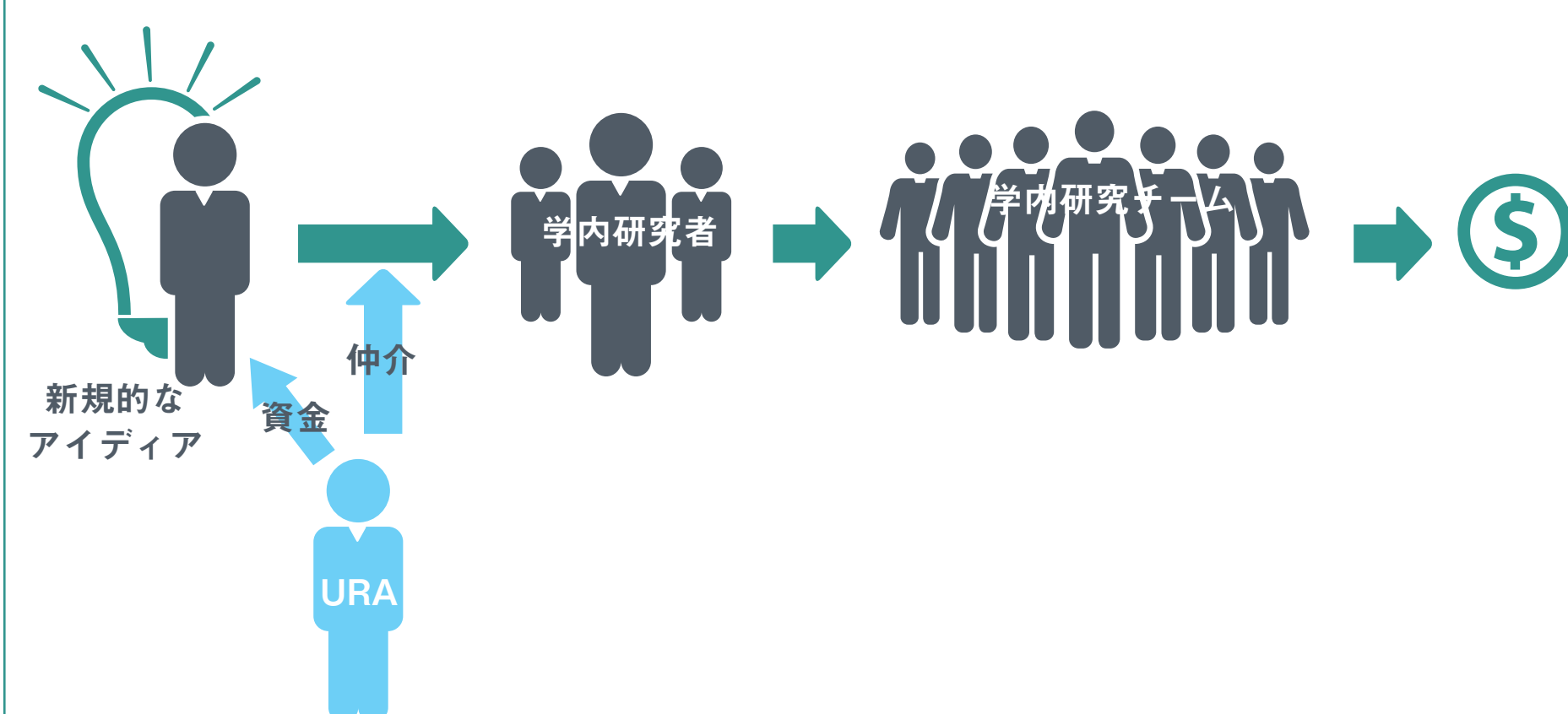
- SPIRITS  
100件を超えるチームを形成
- 分野横断プラットフォーム構築事業  
50件以上の新規ワークショップを開催
- ジョン万プログラム  
約90人の研究者を海外に派遣し、国際力競争力向上
- いしずえ  
のべ100人以上の研究者の外部資金の獲得に寄与
- みがき  
約90件の英語論文の校閲費を支援し、波及効果の高い雑誌に採録
- 事務部と密に連携して学内の研究戦略立案に資することで、URA の存在が学内に浸透
- 20名の URA の On the Job training(OJT) を実施

## いしずえ

いしずえは、個人の研究プロジェクトの飛躍を支える“礎”となるべく、研究実績や体制強化に向けた最後の一押しを支援します。研究者のニーズを反映させながら、毎年改良を重ねています。

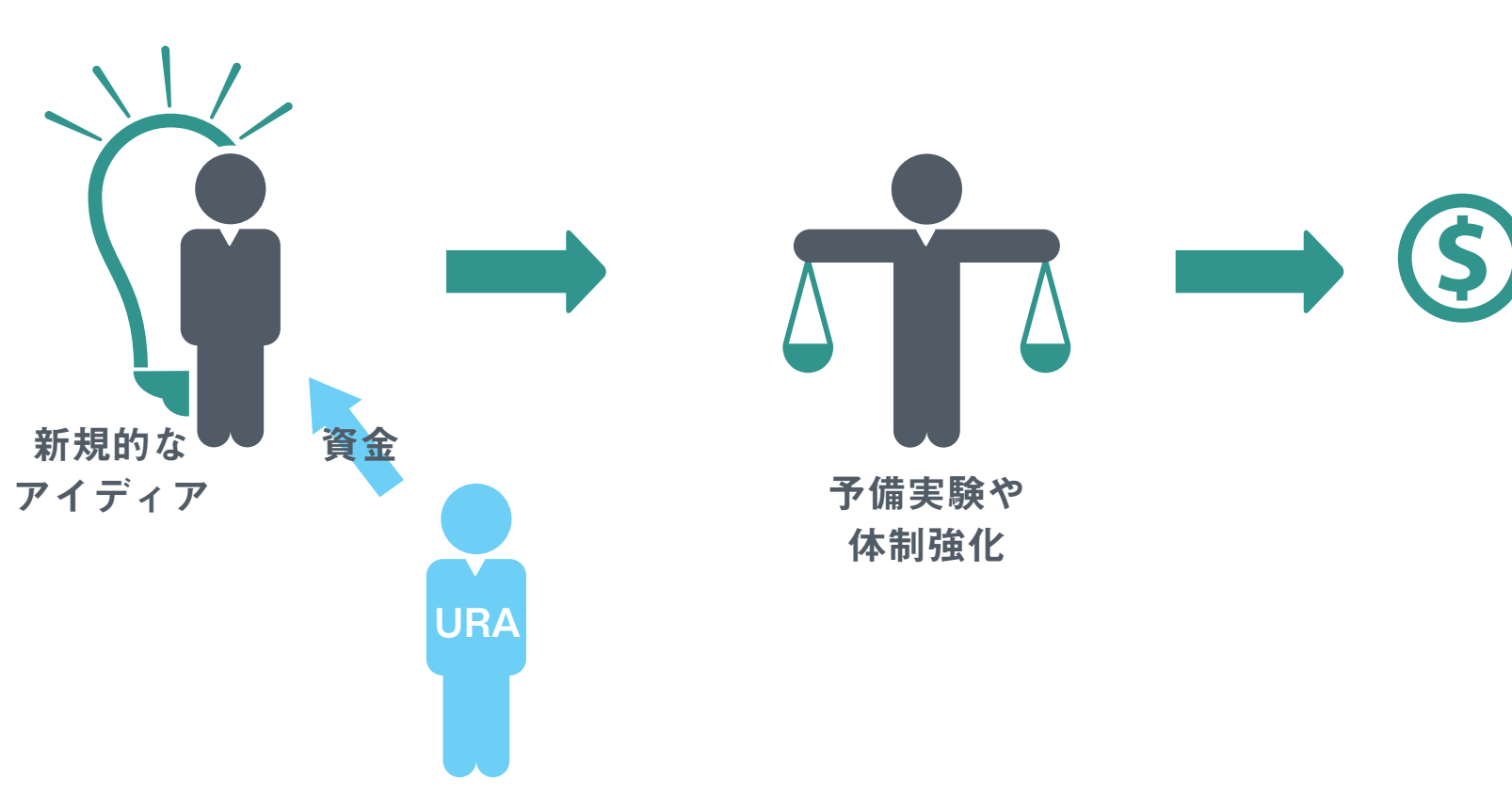
### 平成 25 年度

新たな技術シーズの創出や、国内外の地域社会が抱える課題を解決する学内の研究チーム形成を支援



### 平成 26-27 年度

新規性が高い研究アイデアをプロジェクト化するための取り組みを支援



### 平成 28 年度

若手から中堅層の研究者を対象に、科研費でのステップアップを目指す取り組みを支援

